

レジメン名 weekly Her+PTX

出典 タキソール使用ガイド 2012年9月作成
ハーセプチン適正使用ガイド2011年11月改訂
J Clin Oncol 26:1642-1649.

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 HER2過剰発現乳がん
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

1クール期間 7日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

WBC	3000/mm3未満	Plt	7.5万/mm3未満
ANC	1500/mm3未満	Hb	9.0g/dL未満
AST,ALT	80IU/L以上	T-bil	1.5mg/dL以上
その他	2コース目以降の中止基準 WBC 2000/mm3未満、ANC 1000/mm3未満 LVEFが50%未満に低下した場合、患者の状態について再評価		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
トラスツマブ	4mg/kg	NS250mL	90分	d1(初回)
トラスツマブ	2mg/kg	NS250mL	90分 (30分まで短縮可)	d1(2回目以降)
パクリタキセル	80mg/m2	NS250mL	60-90分	d1

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)

day1
 ①生食50mL(ルート確保用)
 ②トラスツマブ+生食250mL(90min)
 ③生食50mL
 ④グラニセロン3mgハック+ファモチジン20mg+デキサート6.6mg+ボラミン5mg(30min)※
 ⑤パクリタキセル80mg/m2+生食250mL(60-90min)
 DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
 ⑥生食50mL(フラッシュ用)

※催吐リスクは低リスクだが、医師と協議しグラニセロン投与する方針へ。
 デカドロンは初回投与時6.6mgとし、次回投与時までには過敏症状の発現がみられなかった場合は、2週目の投与より半量(3.3mg)に減量して投与してもよい。以降の投与週においても同様の場合、半量ずつ0.825mgまで減量して投与してもよい。